

RT 記者が逮捕と死を脅迫されてウクライナを去る

【訳者注】このエピソードの内容のほかに、文中に埋め込まれたユーチューブ・ビデオと、それに関連して出てくる、我々の知らされていないウクライナの事情を記録したビデオを見ていただきたい。そして是非とも、「勝利でなく混乱——これが帝国のゲームの目的である」を併せ読んでいただきたい。

May 5, 2015

RT (Russia Today)



チェルノブイリ核ステーション近くの火事取材報道した RT 特派員 Paula Slier は、ある地方のジャーナリストが、(ウクライナ) 安全保障局に彼女を拘留するよう要請した後、ウクライナを去った。コメンテーターのある者たちは、この RT 記者の死を要求していた。

スラーを逮捕せよという公然の要求が、ブロggerで Ukrainsky Tizhden (週刊誌「ウクライナ・ウィーク」) の記者でもある Denis Kazansky によって、フェイスブックに投稿された。

「クレムリンのプロパガンダ・チャンネル RT で働いているポーラ・スラーは、反政府自衛軍が“グラッド” ミサイルによって、ウクライナ兵を生きたまま焼き殺すのを笑いながら報告しており、この者は我が国を自由に動き回っている」と、彼は書いた。

「ウクライナ安全保障会議の皆さん、これはあなた方のミスだ。ひょっとしたら Graham

Pilips さえ生きているかもしれない。こうした悪者どもがわが国にはならないのだ」と、カザンスキーは付け加えた。

このフェイスブックでの主張が、洪水のような怒りのコメントを誘発し、一部のユーザーはこの RT 特派員を殺せと呼びかけた。

https://twitter.com/PaulaSlier_RT 「この脅迫について、私に警告をしてくださったあらゆる方々に感謝申し上げます。このことに気づかされた後、私はキエフを去り、現在ウクライナ国外におります。」

多くのウクライナのメディアもまた、このフェイスブックの書き込みを報じた。

別のウクライナのジャーナリスト Anatoly Shary は、ユーチューブ・ビデオを投稿し、カザンスキーの嘘と作り話を非難して、スラーに対する告発は、ウクライナのジャーナリストたちの仄めかした出まかせだと主張している。

スラーがオンラインで死の脅迫を受けたのは、これが初めてではない。彼女は2014年9月、東ウクライナの前線から報道していたときも、脅迫を受けた。彼女が“笑っている”と非難されたのはこのときで、彼女は、キエフ軍の陣地と言われる方角ヘグラッド・ミサイルを撃っている、ドンバスの反乱軍の隣にいて報道していたのだった。

関連記事：「東ウクライナの前線についての偏見と死の脅迫」

<http://rt.com/news/190808-osce-panel-slier-rt>

しかしビデオを見ればわかるように、ポーラは実は、すぐ近くで発射されたロケット弾の轟音に怯んでいたのである。

<https://youtu.be/KCzUCJzpig>

彼女はこれまでも戦闘地帯で仕事をしているので、生命に対する脅威の経験は初めてではない。しかし彼女は、このように自分を狙ったキャンペーンは全く別だと言っている——「私はシリア、イラク、アフガニスタンで仕事をするのは慣れていますが。しかしこれは別種の恐怖です。例えば、間違った時間に間違った場所において、誘拐とか爆殺の危険に直面することはあります。しかし今度の場合は、私を捕まえ傷つけようとして、誰かが意識的に私を見分けようとする恐怖です。」

沢山の脅しに直面した RT のヘッド Margarita Simonyan は、ウクライナ政府に対し、メディア関係者の安全を保障するように求めている――

「ポーラに向けられた脅迫は、ウクライナがジャーナリストに対し、チェルノブイリの火事のような重要な問題や、その他、政治に全く関係のない話題を取材する場合でさえ、適切な活動の条件を与えないという事実を、またしても証明することになった。我々は、記者たちが生命の心配をしなければならない事実を、甚だしく憂慮しており、ウクライナ政府が、記者たちの安全な環境を確保してくれることを要請する。」

ロシアの調査委員会は、ウクライナの政治学者 Yury Romanenko に対する犯罪調査を開始した。彼は約一か月前、ハーヴァード大学の講義で、ロシアのジャーナリストは殺してもよいと主張し、後に、フェイスブックにもその内容を掲載した。

Paula Slier は、RT が 2005 年に発足して以来、このメディア・チャンネルで働いており、シリア、リビア、エジプト、パレスチナ、それにウクライナと、多数の場所での紛争を取材している軍事特派員である。

2013 年、スラーは世界で最も影響力をもつ南アフリカ人の一人と認定された。